



▲延べ912人の選手が記録更新を目指した「第12回所沢市陸上競 技選手権大会」。小学生から社会人まで、出場選手はみな、声援 を力に変え、精一杯全力を尽くしました。

> 10月16日(日)/早稲田大学織田幹雄記念陸上競技場 (撮影:市民カメラマン・佐藤清一郎)



## ボウリング競技で「おいでませ!山口国体」出場

本橋 優美さん (所沢中学校3年)

で100台だったスコアが200台に上がるほど上達し、「おいでませ!山

口国体」の少年女子の部門の埼玉県代表に選 出されるようになりました。「国体は、これま での大会とまったく雰囲気が違い、非常にい い体験でした」と楽しそうに話す本橋さん。大 会に出場する同世代の選手とは、「いろいろな 大会で顔を合わせているので友達になりまし た。でも、勝負は別なので、負けたくありませ ん」と言葉に力がこもります。そして「勝負の ときは、ピンクの靴下を履きます。ピンクの靴 下を履くと、必ずいい成績なんです」と、はに かみながら話してくれました。

「将来のことはまだ決められませんが、ボ ウリングは続けていきたい」と15歳の前向き な少女の未来は前途洋々です。

ボウリング場で、ひたむきに球を投げてい る少女を見かけたら、彼女かもしれません。

本橋さんの今後の活躍がますます楽しみで すね。



▲練習に励む本橋さん

的私がレ生医 取でして動にて年にも多セが師百る心負、を、50。糖 いかもしれない」 歳を迎えられた 身のバランスを 荷をかけること 食事に気を配るだけでなく、 事物に対して、好奇心を持ち知的、情 の日野原重明先 のである。 クイズ本に挑戦している。 プター (受容体) 心がけている。 「私には人より と述べているとおり

受容体を多く取り入れるように心がけ

数年経つ。そんな私は、薬の服用以外 それでいて酒・たばこをこよなく愛し 尿病という生活習慣病と付き合って30 こぶし町 また脳の活性化も大切 精神的に少 適度な運

凹きに生きる ż

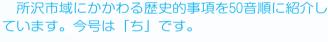
**▼**山車のひきまわしや よさこいパレード等さま ざまな催し物が行われた 「ところざわまつり」。 34万人の人が歌に、踊り に、買い物に、大いに盛 り上がりました。

10月9日(日)/中央地区 (撮影:市民カメラマン・



## ところざわ

## 歴史まめ知識



入間地区での茶の栽培は中世にまでさかのぼ ると言われます。一度衰退したものの、江戸時代後期 に入間郡二本木村の苦川温恭らによっ

て復興され、隣接する三ヶ島地区から 現在の市域に広がりました。幕末には堀之内村の **志村善次郎が横浜港から輸出を手がけました。後** に国内向けに転じ、静岡や京都など有力な産地と の競争の中で、「狭山茶」のブランドを確立する ため栽培や製茶の技術が磨かれました。富岡地区 には、製茶技術の向上に功績が高かった大野喜三 郎の記念碑が残っています。今後も伝統ある茶業

を応援していきたいものです。



▲大野喜三郎の記念碑

中心市街地 10棟以上の高層建築物が並ぶ銀座通りは、かつ ての江戸街道沿いに、上・中・下の宿が連なる所沢の町場の「中 心」でした。しかし鉄道の開通をきっかけに、徐々ににぎわいは 駅周辺へと移っていきます。その状況を打破するため再開発が始 まりました。民間活力を導入し、土地の高度利用をめざした高層 <mark>住宅の建設は景観を大幅に変</mark>化させましたが、明治天皇行在所跡 の齊藤家など、残された歴史的建造物を活用し、地域活性化の拠 点として「野老澤町造商店」が活発に活動しています。

町名整備 昭和30年代以降の住宅開発で市内には新しい地名 が急増します。住宅開発や区画整理によって誕生した町に新しい 名をつけた緑町、小手指町、松が丘などや、入り組んだ大字を解 消しようとした三ヶ島などの例があります。平成21年には、昔は なかった新しい道路を新しい境界として、小手指台などが誕生し ました。昭和30年に大字を含む町名はちょうど30個でしたが、60 年には71個、そして現在では81個の町名を持つようになりました (丁目の違いを除く)。皆さんはいくつ挙げることができますか?

◎生涯学習推進センター(3階)では「まめ知識」にちなんだミ 二展示を実施しています。11月は「町名整備」です。

問い合わせ 生涯学習推進センターふるさと研究グループ

**2**2991-0308 **2**2991-0309